

GeneXus™

Grow thru knowledge

GeneXus X Evolution 3

インストールガイド

2017年3月更新

GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2017 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目27番3号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

目次.....	3
はじめに.....	5
ご利用局面ごとの手順概要.....	7
1. GeneXus の新規利用.....	8
1.1 システム要件の確認.....	8
1.2 GeneXus のインストール.....	10
1.3 新規ライセンス請求.....	10
1.4 新規ライセンスの取込み.....	11
2. ライセンスの継続/追加.....	12
2.1 継続/追加ライセンスの請求.....	12
2.2 継続/追加ライセンスの取込み.....	14
3. GeneXus のアップグレード(Upgrade バージョン).....	15
3.1 システム要件の確認.....	15
3.2 GeneXus のアップグレード.....	15
4. 旧 Major,Minor バージョンのアップグレード.....	16
4.1 旧 Major,Minor バージョンのアップグレード.....	16
5. マシン間のライセンスの移行.....	18
6. 【トラブルシューティング】ライセンスの再発行.....	19
6.1 エビデンスの準備.....	19
6.2 再発行ライセンスまたは緊急ライセンスの請求.....	19
6.3 再発行ライセンスまたは緊急ライセンスの取込み.....	21
操作詳細.....	22
A) GeneXus のインストール.....	23
オプションのツールについて.....	29
B) GeneXus のアップグレード(Upgrade バージョン).....	30
C) ライセンスのアンインストール.....	34
D) Protection Server のインストール.....	38
E) ライセンス請求.....	38
F) ライセンスの取込み.....	43
G) 緊急ライセンスの取込み.....	46
H) ライセンスの移行手順.....	49

1. ターゲットマシンで移行用ファイルの作成	49
2. ソースマシンからライセンスの書出し	51
3. ターゲットマシンでライセンスの取込み	52
I) ユーザー登録	54
付録：ライセンス請求・取込みチェックリスト	57
新規ライセンス請求・取込みチェックリスト	57
継続ライセンス請求・取込みチェックリスト	58

はじめに

本書は、GeneXus をご利用いただくためのインストールガイドです。

GeneXus のライセンスの転売は禁止されております。他社への変更／譲渡はできません。

GeneXus コミュニティ

GeneXus の利用開始には、GeneXus アカウント（旧 GXteschnicalID）を取得して、GeneXus コミュニティに参加することから始めます。GeneXus アカウントは、GeneXus コミュニティのさまざまな情報へアクセスしたり、ライセンスを管理するための大切なアカウントです。ユーザー登録の方法については「[Iユーザー登録](#)」（P54）を参照してください。

GeneXus のバージョン

GeneXus のバージョンは、Major、Minor と Upgrade があります。

Major	Minor	Upgrade
-GX9		
GX X	Ev0	U0-U4
	Ev1	U0-U8
	Ev2	U0-U7
	Ev3	U0-U12(2017.03 現在)
GX15		U0-U4(2017.03 現在)

GeneXus のアップグレードについて

GeneXus のアップグレードといった場合、1) GeneXus というソフトウェアのアップグレード、2) GeneXus を使うためのライセンスのアップグレード（更新の意味です）、3) GeneXus を使って開発したアプリケーションのアップグレードという3つの局面があります。このインストールガイドでは1) と2) について扱います。

1) のアップグレードについて、上記バージョンにより、Major、Minor のバージョンは2~3年ごとにアップグレードがリリースされます。Upgrade のバージョン（日本語版）は、約4か月ごとにアップグレードがリリースされます。これらのアップグレードについては、追加の費用は発生しません。Major、Minor のアップグレードについては旧バージョンからのアップグレードを参照してください。Upgrade のバージョンのアップグレードについては「[3.GeneXus のアップグレード\(Upgrade バージョン\)](#)」（P15）を参照してください。

2) のライセンスのアップグレードについては、Major、Minorバージョンのアップグレードの場合に必要ななりますが、これも追加の費用は発生しません。

PC にインストールされる GeneXus のソフトウェアは、Major、Minorバージョンで指定したバージョンごとに同一のディレクトリに格納されますが、Upgradeバージョンが異なっても同じディレクトリに格納されます（上書きされます）。したがって1台のPCでは異なるMajor、MinorバージョンのGeneXusをご利用いただくことができますが、Upgradeバージョンは異なるバージョンをご利用いただけません。

プロテクションサーバーのご利用について

GeneXusがインストールされているマシンに作成されるLicense Managerをご利用いただいてライセンスを管理することもできますが、Protection Serverをご利用いただくことで同一のネットワークに接続されたPCで使用するGeneXusのライセンスをまとめて管理することもできます。また、Protection Server と異なるネットワークに接続されたPCに対してはGeneXusのライセンスを移行することもできます。

手順は「[D\)ProtectionServer のインストール](#)」(P38)を参照してください。

ご利用局面ごとの手順概要

1. GeneXus の新規利用

このセクションでは、GeneXus X Evolution 3 を新規にご利用される場合の手順について説明します。

1.1 システム要件の確認

GeneXus X Evolution 3 を実行するには、次のようなハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

ソフトウェア要件

- Microsoft Windows XP SP2 以上
- Microsoft .NET Framework 3.5 SP1
- Microsoft SQL Server 2005/2008/2012/2014 Express エディションまたは Standard エディション
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 SP1 以上。バージョン 8.0 以上を推奨。
- Sun JRE | JDK 1.6 以上

ハードウェア要件

- プロセッサ: 1 GHz 以上 (マルチコアを推奨)
- メモリー: 2 GB 以上の RAM (4 GB を推奨)
- ハードディスク: 1.2 GB 以上のハードディスクの空き容量。アプリケーションを生成するには、追加領域または共有ディスクユニットを使用してナレッジベースを作成し、コードを生成する必要があります。

Smart Devices ジェネレーター要件

- [IIS URL Rewrite 2.0](#) 以上
- **Android**
 - [Java JDK version 6](#)
 - [Android SDK](#) 2.2 および Google API 8(2.2) 以上

詳細情報: [Android 前提条件](#)

- **Blackberry**
 - [Java JDK version 6](#)

- [BlackBerry JDE 5.0](#)
- [BlackBerry シミュレーター](#)

詳細情報 : [BlackBerry 前提条件](#)

- **Apple (iOS)**

- Knowledge Base Navigator (iOS デバイス) :

生成したアプリケーションをプロトタイプするための Mac がない場合、[Apple Store で入手可能な Knowledge Base Navigator](#) を使って、直接デバイス (iPhone、iPad、iPod) でプロトタイプすることができます。

- Xcode (Mac) :

Mac がある場合、iPhone / iPad のシミュレーターまたは直接デバイス上で、生成されたアプリケーションをプロトタイプすることができます。

詳細情報 : [iOS 前提条件](#)

1.2 GeneXus のインストール

GeneXus を適用するアプリケーション開発者の PC に GeneXus をインストールします。操作詳細「[A\)GeneXus のインストール](#)」(P23)にしたがってインストールしてください。

1.3 新規ライセンス請求

ライセンスは、必要な機能を製品リストから選択して請求します。また各 GeneXus 以外の製品も同時に行う場合は、各製品のインストールガイドを参照して請求ファイルを作成してください。

重要：ライセンスの発行は GeneXus SA 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

注意：操作は Protection Server / GeneXus Licence Manager を使って行います。ライセンス関連の処理をされる前に、トラブル未然防止の観点から、常に最新のバージョンをご利用いただく必要があります。

http://internal.genexus.jp/downloads/InstructionalDocuments/Upgrading_Protectdll.zip

上記文書にしたがって、バージョンを確認し、最新のバージョンでない場合は、最新化してください。

1. 操作詳細「[E\)ライセンス請求](#)」(P38)にしたがって「.gxa」ファイルを作成します。
2. お使いのメールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを keystmaster@genexus.jp に送信します。

重要：GeneXus パートナーから GeneXus を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。

1.4 新規ライセンスの取込み

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。操作詳細「[F\)ライセンスの取込み](#)」(P43)を参照してください。

2. ライセンスの継続/追加

このセクションでは、GeneXus X Evolution 3 のライセンスを継続/追加する際の手順を説明します。

2.1 継続/追加ライセンスの請求

重要：ライセンスの発行は GeneXus SA 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00~16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要：ライセンスを請求するときと、ライセンスキーを取込むときの「状態」は同じである必要があります。「状態」が異なると、ライセンスキーが取込めなくなります。有効日数が残っている「承認済み」の状態ではライセンスキーを取込めるように、余裕をもって有効日数が5営業日以上ある時点で請求を行ってください。

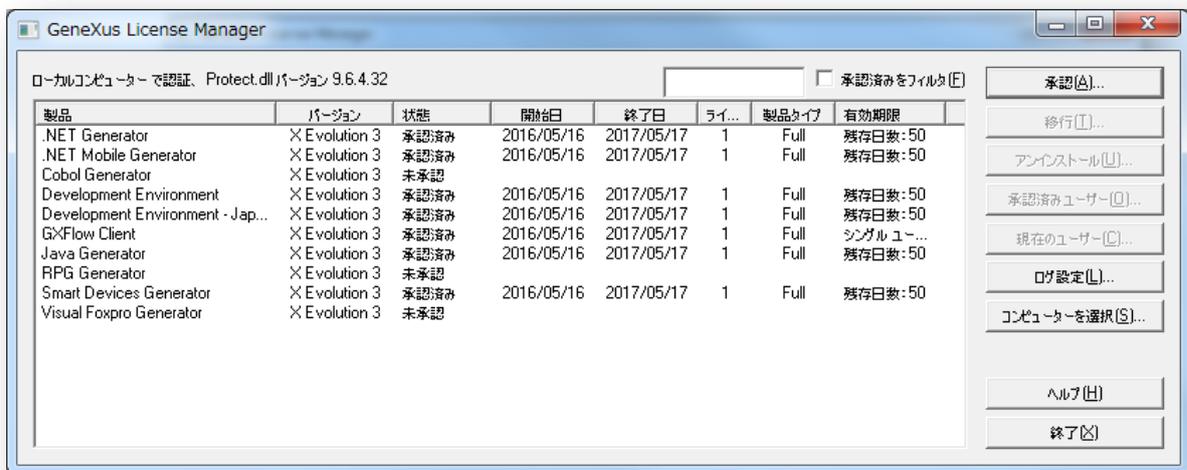
注意：操作は Protection Server / GeneXus Licence Manager を使って行います。ライセンス関連の処理をされる前に、トラブル未然防止の観点から、常に最新のバージョンをご利用いただく必要があります。

http://internal.genexus.jp/downloads/InstructionalDocuments/Upgrading_Protectdll.zip

上記文書にしたがって、バージョンを確認し、最新のバージョンでない場合は、最新化してください。

次の手順にしたがって、継続/追加ライセンスを請求します。

1. 「Protection Server/GeneXus License Manager」の起動時の画面のスクリーンショットを撮り、保存します。スクリーンショットには「製品」、「バージョン」、「状態」、「開始日」、「終了日」、「ライセンス数」、および「有効期限」の「残存日数」の内容が表示されている必要があります。



2. 操作詳細「[E\)ライセンス請求](#)」(P38)にしたがって「.gxa」ファイルを作成します。
3. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルと情報を GeneXus パートナーまたは keystmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 手順2で作成した「.gxa」ファイル
 - 注文書に記載されているライセンス番号
 - ライセンス追加本数（ライセンスを追加購入する場合のみ）

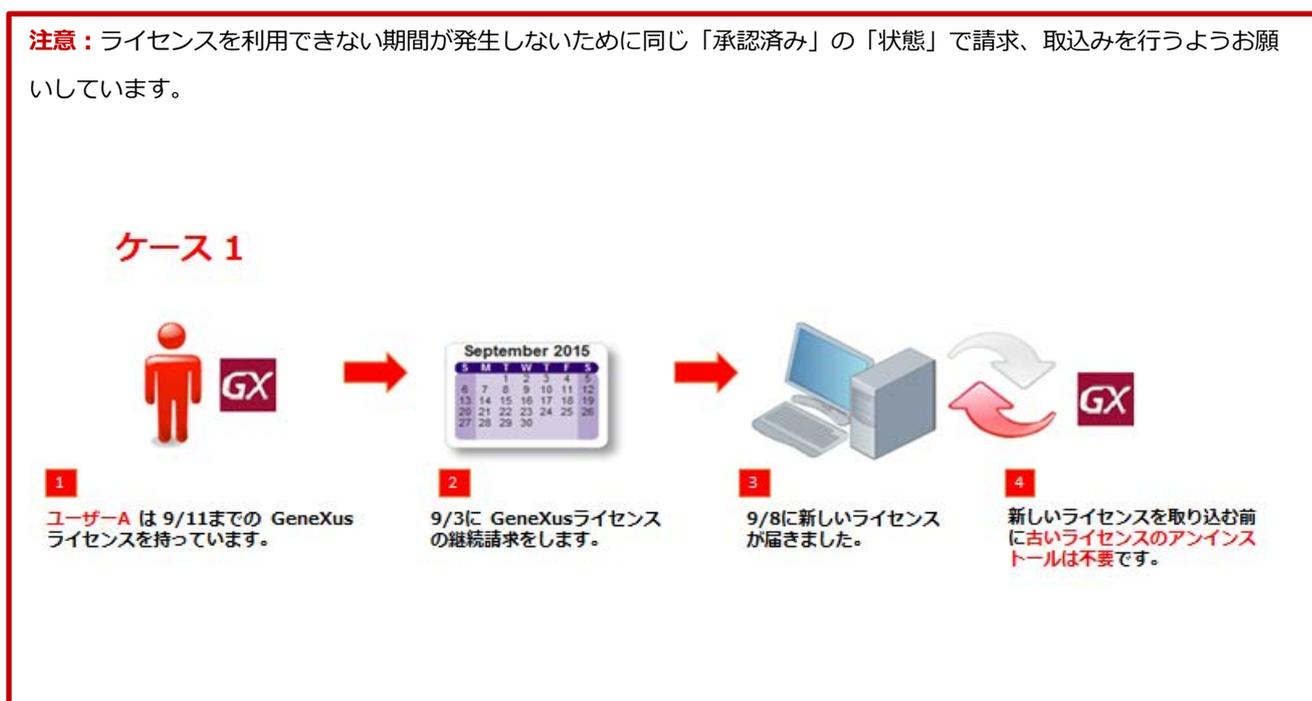
以上で継続/追加ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のメールを送信したメールアドレスに送信されます。

2.2 継続/追加ライセンスの取込み

次の手順にしたがって、継続/追加ライセンスを取込みます。

注意：ライセンスを利用できない期間が発生しないために同じ「承認済み」の「状態」で請求、取込みを行うようお願いしています。



1. 請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。操作詳細「[F\)ライセンスの取込み](#)」(P43)を参照してください。

3. GeneXus のアップグレード(Upgrade バージョン)

このセクションでは、既にインストールされている GeneXus を最新版にアップグレードする方法について説明します。ここで説明するのは Upgrade バージョンのアップグレードの場合です。Major, Minor バージョンのアップグレードについては「[4. 旧 Major, Minor バージョンのアップグレード](#)」(P16)を実施してください。

3.1 システム要件の確認

GeneXus X EV3 の最新版にアップグレードする場合には「[1.1 システム要件の確認](#)」(P8)にあるシステム要件を確認します。

3.2 GeneXus のアップグレード

1. 操作詳細「[B\)GeneXus のアップグレード\(Upgrade バージョン\)](#)」(P30)にしたがってアップグレードを行います。

4. 旧 Major,Minor バージョンのアップグレード

4.1 旧 Major,Minor バージョンのアップグレード

ここで対象となるのは、「はじめに」(P5)で説明した GeneXus のバージョンのうち Major、Minor バージョンのアップグレードになります。Upgrade バージョンのアップグレードについては「[3. GeneXus のアップグレード \(Upgrade バージョン\)](#)」(P15)を参照してください。

GeneXus X Evolution 3 へのアップグレード可能な GeneXus 製品は次のとおりです。

- GeneXus 9.0
- GeneXus X
- GeneXus X Evolution 1
- GeneXus X Evolution 2

無償で GeneXus X Evolution 3 へのアップグレードが可能です。

注意： GeneXus 8.0 をお使いの場合、GeneXus X Evolution 3 へのアップグレードには差額が発生します。詳細については、ご購入されたパートナーまたは弊社営業部 (info@genexus.jp) までお問い合わせください。

旧バージョンの GeneXus から GeneXus X Evolution 3 にアップグレードする場合、現在使用しているバージョンの GeneXus ライセンスをアンインストールし、Evolution 3 のライセンスを新規請求する必要があります。

また、Protection Server をお使いの場合、Evolution 3 に対応する最新バージョンの Protection Server アプリケーションを、現在ライセンスを管理しているサーバー(Protection Server がインストールされているサーバー)にインストール(更新)する必要があります。

アップグレードの流れは次のとおりです：

1. 操作詳細「[C\)ライセンスのアンインストール](#)」(P34)に従い、Keys.gxa ファイル (**添付ファイル A**)、
「GeneXus License Manager」のスクリーンショット (**添付ファイル B**)、GxProt.log ファイル (**添付ファイル C**) を用意する
2. 操作詳細「[A\)GeneXus のインストール](#)」(P23)に従い、GeneXus X EV3 をインストールする。
3. 操作詳細「[E\)ライセンス請求](#)」(P38)に従いライセンスを格納するための .gxa ファイルを生成する → (**添付ファイル D**)
4. アップグレードする GeneXus 製品のライセンス番号 (6 桁の数字) および上記添付ファイル A、B、C、D を購入先のパートナーに送付する

注意： パートナーのご担当者および弊社直販のお客様は「keystmaster@genexus.jp」宛にライセンス番号および添付ファイル A、B、C、D を送付してください。

パートナーまたは弊社から送付された GeneXus X Evolution 3 ライセンスを格納した .gxa ファイルを操作詳細「[F\) ライセンス取込み](#)」(P43)の手順にしたがって取り込む。



図：GeneXus X Evolution 3 アップグレードの流れ

重要：ライセンスキーは、「GeneXus X Evolution 3」をインストールしたマシンから請求する必要があります。ライセンスキーの請求に使用する「GeneXus License Manager」は「GeneXus X Evolution 3」にバンドルされているバージョンをお使いください。

重要：ライセンスの発行はウルグアイの GeneXus 社で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00~16:00

時間外のご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

5. マシン間のライセンスの移行

このセクションでは、GeneXus のライセンスを、別のマシンに移行する方法について説明します。

注意：操作は Protection Server / GeneXus Licence Manager を使って行います。ライセンス関連の処理をされる前に、トラブル未然防止の観点から、常に最新のバージョンをご利用いただく必要があります。

http://internal.genexus.jp/downloads/InstructionalDocuments/Upgrading_Protectdll.zip

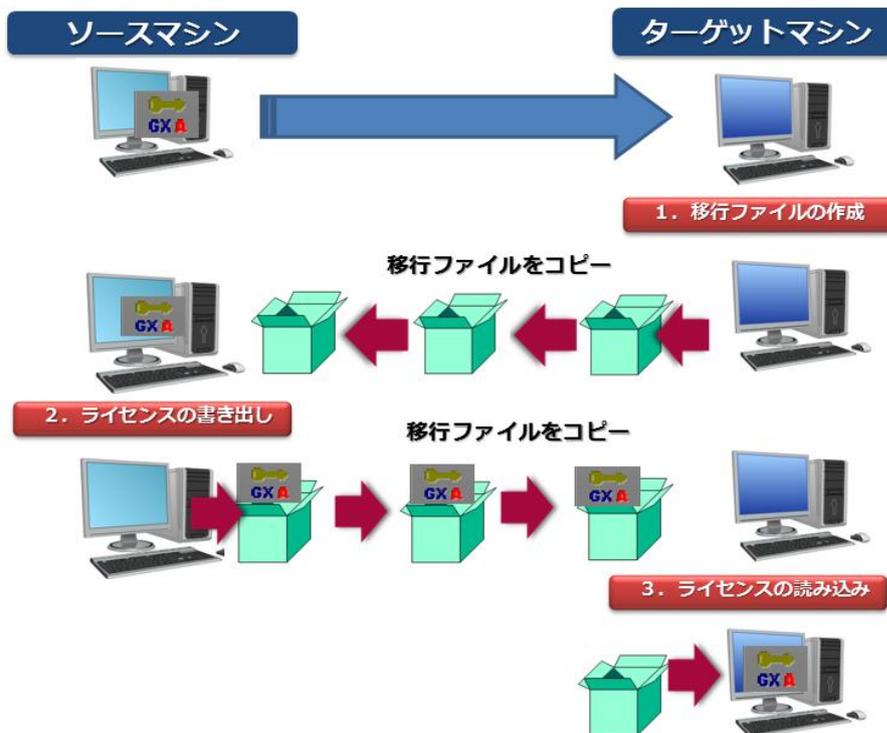
上記文書にしたがって、バージョンを確認し、最新のバージョンでない場合は、最新化してください。

概要は以下のとおりです。

現在 GeneXus ライセンスが入っているマシンを「**ソースマシン**」と呼び、ライセンスの移行先のマシンを「**ターゲットマシン**」と呼びます。

1. ターゲットマシンでライセンスファイル登録用ファイル「**移行ファイル**」を作成してソースマシンにコピーします。
2. ソースマシンで、「**移行ファイル**」にライセンスを書き出してターゲットマシンにコピーします。
3. ターゲットマシンでライセンスを**読み込み**ます。

具体的な操作方法は操作詳細「[H\) ライセンスの移行手順](#)」(P49)にしたがって行ってください。



6. 【トラブルシューティング】ライセンスの再発行

このセクションでは、何らかの理由でライセンスが停止中となったり、GeneXus をインストールしているマシンが故障したりして、GeneXus が使用できなくなった場合にライセンスを再発行する手順について説明します。

6.1 エビデンスの準備

- A) 「Protection Server/GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
- B) 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル

※マシンの故障等でエビデンスを作成できない場合は、「ライセンス再発行依頼書」の提出後にライセンスの再請求を行っていただきます。

1. 弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求
2. 必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社まで郵送してください。
3. 再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、新しいマシンから操作詳細「[E\)ライセンス請求](#)」(P38)にしたがって、ライセンスの請求手続きを行ってください。

6.2 再発行ライセンスまたは緊急ライセンスの請求

注意：操作は Protection Server/GeneXus License Manager を使って行います。ライセンス関連の処理をされる前に、トラブル未然防止の観点から、常に最新のバージョンをご利用いただく必要があります。

http://internal.genexus.jp/downloads/InstructionalDocuments/Upgrading_Protectdll.zip

上記文書にしたがって、バージョンを確認し、最新のバージョンでない場合は、最新化してください。

ライセンス再請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00~16:00（緊急ライセンスは 10:00~18:00）

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンスの再発行は、お客様の業務の状況に応じて、以下の2つの方法から選択してください。

A) ライセンスの再請求を行う。

「ライセンスの再請求」では、最速でもライセンスキーの受け取りが翌日になってしまいます。

B) 緊急ライセンスを請求する

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「緊急ライセンス」を発行しています。「緊急ライセンス」は、ライセンス再請求を行った当日ライセンスキーを受け取ることができますが、有効期間が15日間なので、15日以内に、もう一度ライセンスの再申請を行う必要があります。このときには、「[C\) ライセンスのアンインストール](#)」(P34)にしたがって「緊急ライセンス」をアンインストールしてからライセンスの再申請をしてください。

1. 操作詳細「[E\)ライセンス請求](#)」(P38)にしたがって、「.gxa」ファイルを作成します。

2. GeneXus をお買い求めの GeneXus パートナーまたは弊社(keysmaster@genexus.jp)まで、以下のメールでご依頼ください。

➤ **送信するメールの件名** : GeneXus ライセンス再発行依頼 / GeneXus 緊急ライセンス発行依頼

注意 : 選択する方を残し、選択しない方を削除して送ってください。

➤ **メールの本文** :

- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6桁の数字)
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号
- 再発行理由

参考 : ライセンスが停止中になる主な原因

<禁止事項の実施>

- ・ GeneXus がインストールされている端末のシステム日付の変更
- ・ レジストリー情報の修正を行う。

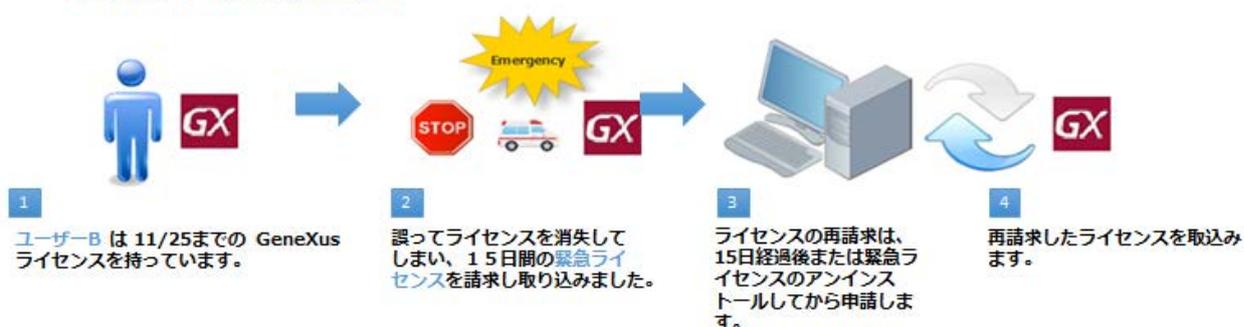
<不可避事項>

- ・ OS のアップデートによるシステムの変更
- ・ OS の不具合
- ・ Protection Server / GeneXus License Manager のバグ

6.3 再発行ライセンスまたは緊急ライセンスの取込み

注意：緊急ライセンスが有効な時に、ライセンスを再申請してもそのライセンスを取込むことはできません。15日間の緊急ライセンスの有効期間が終わってから再申請するか、緊急ライセンスをアンインストールしてからライセンスの再申請をする必要があります。

緊急ライセンスの場合



請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にします。請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にする方法については、

- ・ライセンス再請求の場合、操作詳細「[F\)ライセンスの取込み](#)」(P43)を、
- ・緊急ライセンスの請求の場合、操作詳細「[G\)緊急ライセンスの取込み](#)」(P46)を

参照してください。

操作詳細

A) GeneXus のインストール

このセクションでは、GeneXus のインストールについて説明します。

このセクションでは、GeneXus X Evolution 3 をインストールするための手順について説明します。インストールを実行するには、管理者権限が必要です。インストールの前に必ず前述の「[1.1 システム要件の確認](#)」(P8)を参照してください。使用するコンピューターがこのセクションに記載されている要件を満たしていることを確認してから、セットアッププログラムを実行する必要があります。

参考： GeneXus X Evolution 3 にはいくつかのツールがバンドルされており、オプションとして個別のインストーラを使用してインストールすることができます。これらのツールについては、後述の「[オプションのツールについて](#)」(P29)を参照してください。

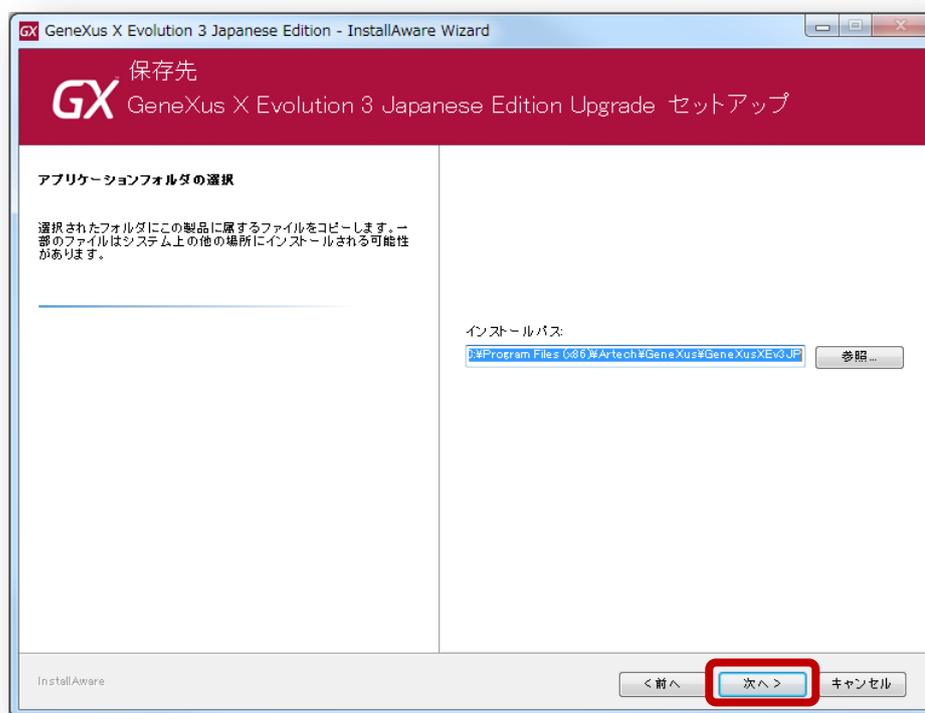
1. セットアッププログラム(「GeneXusXEv3UN.exe」といった名称です。N にはアップグレードバージョン番号が入ります) を右クリックして「**管理者として実行**」を選択します(XP の場合はダブルクリックします)。次のような「インストールウィザード」画面が表示されます。



2. 「次へ」をクリックします。ライセンス規約が表示されます。
3. ライセンス使用許諾契約の内容を一読し、同意する場合は、画面右下部にある「**使用許諾書の条項に同意します**」のチェックボックスを選択します。

使用許諾書に同意すると、「次へ」のボタンが選択可能になります。

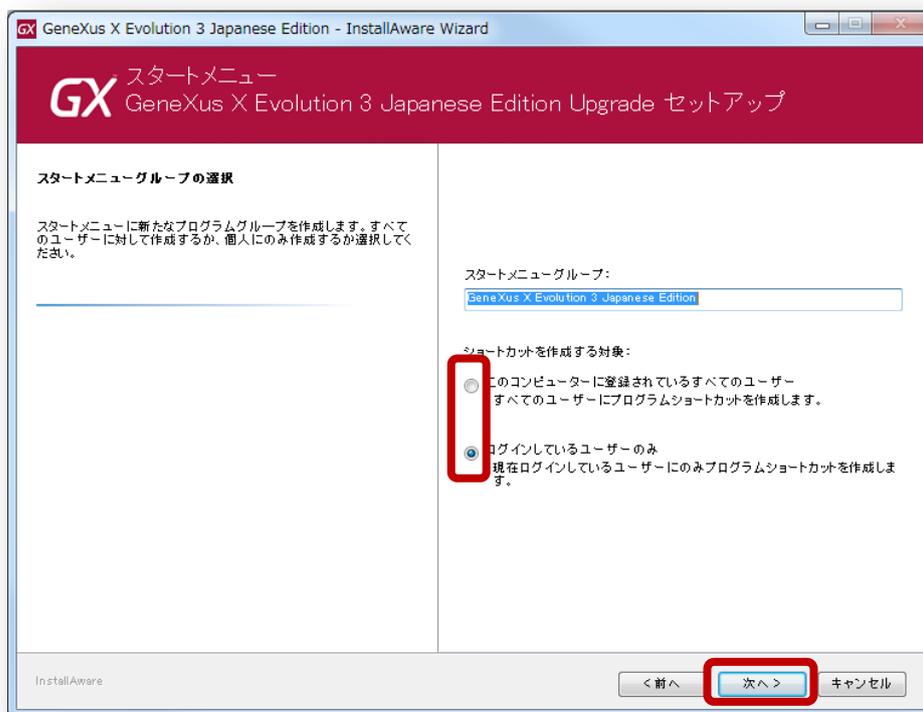
4. 「次へ」をクリックします。情報登録画面が表示されます。
5. 「名前」フィールドに管理者の名前を入力し、「会社名」フィールドに会社名を入力します。
6. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先の選択画面が表示されます。



7. 「インストールパス」セクションにインストールパスを指定します。右側にある「参照」ボタンをクリックして、任意の場所を指定することができます。

参考：既定のディレクトリは c:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv3JP です。ほかのバージョンの GeneXus が使用しているディレクトリは使用しないでください。

8. 「次へ」をクリックします。次のようなスタートメニューへの登録画面が表示されます。



9. 「スタートメニューグループ」フィールドにアプリケーション名を指定します(既定では「GeneXus X Evolution 3 Japanese Edition」と表示されています)。**ショートカットを作成する対象**として以下のいずれかのオプションを選択します。
- 「このコンピューターに登録されているすべてのユーザー」：すべてのユーザーにプログラムショートカットを作成します。
 - 「ログインしているユーザーのみ」：現在ログインしているユーザーにのみプログラムショートカットを作成します。

10. 「次へ」をクリックします。ログイン認証およびアプリケーションの実行承認を集中管理する機能を提供する「GeneXus Access Manager (GAM)」の実行プラットフォームの選択画面が表示されます。



11. 次の中から任意のオプションを選択します。

- Informix
- PostgreSQL
- DB2 Universal Database
- Oracle
- DB2 for iSeries

重要：上記の GAM オプションのインストールには、インターネット接続が必要です。SQL Server と MySQL はプリインストールされるため、選択オプションとして表示されません。後から追加で別の実行環境をインストールする場合やインターネット接続環境がない場合には、付属の「GAM_LocalInstaller」を使って個別にインストールすることができます。詳しくは、「GAM_LocalInstaller」に付属の書類を参照してください。

12. 「次へ」をクリックします。インストールウィザードにより、インストールに必要なアプリケーションがすべて揃っているかどうかを検証されます。インストール可能な状態である場合、次のようなインストールの開始画面が表示されます。

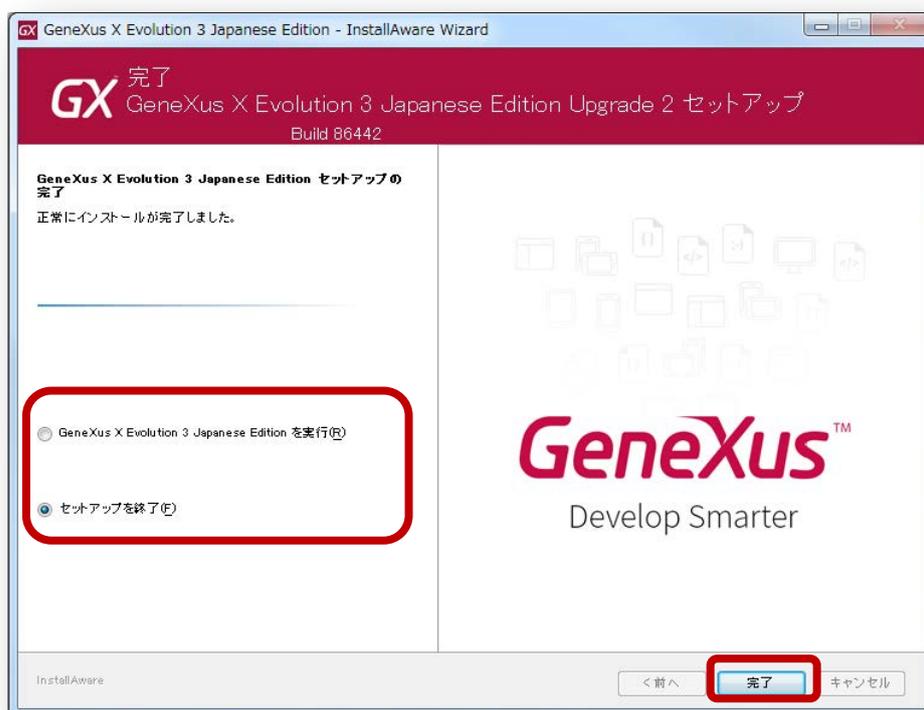


13. 「次へ」をクリックします。インストールの進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。

14. 次のようなセットアップ完了の画面が表示されたら、次のいずれかのオプションを選択してから「完了」をクリックします。

- **GeneXus X Evolution 3 Japanese Edition を実行**：このオプションを選択すると、インストール完了後にアプリケーションが起動します。また、はじめて GeneXus を使用する場合や Protection Server 上に GeneXus ライセンスがある場合には、ライセンス請求用のダイアログが表示されます。

「**オーソライズ請求**」ボタンをクリックすると、ライセンスを請求することができます。



参考：このライセンス請求用のダイアログの設定内容は「**GeneXus License Manager**」と同一です。

- **セットアップを終了**：セットアッププログラムを終了します。

これで GeneXus X Evolution 3 のインストールは完了です。アプリケーションを使用するには、ライセンスの請求／登録が必要です。操作詳細「[E\)ライセンス請求](#)」(P38)の手順を参照してください。

オプションのツールについて

GeneXus X Evolution 3 には、以下のツールのインストーラが同梱されており、オプションでインストールすることができます。オプションのツールのインストール方法については、各インストーラをダブルクリックすることで表示される「インストールウィザード」の手順にしたがってください。

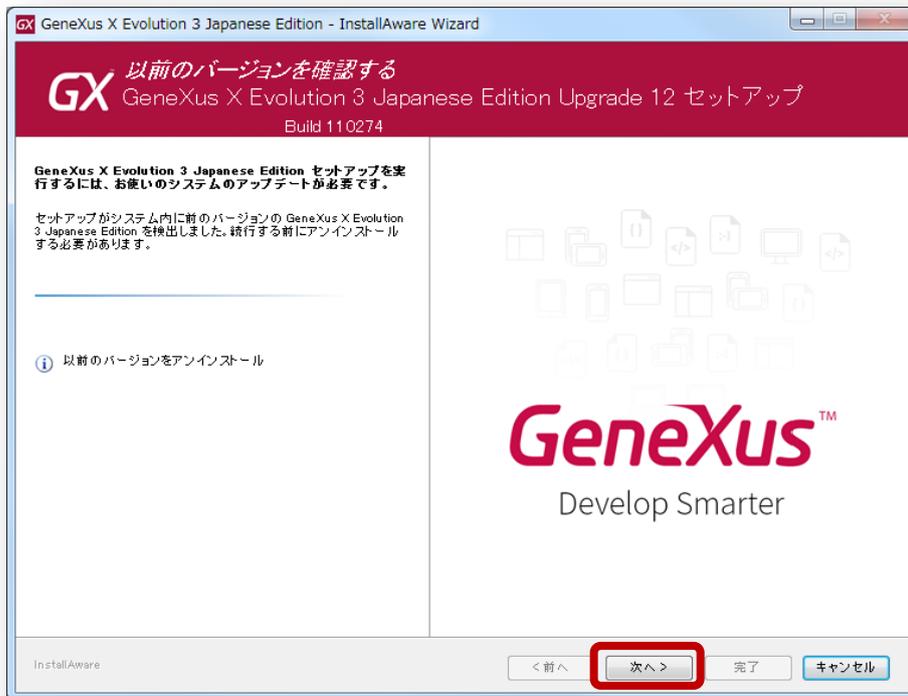
- GAM Platforms : インターネット接続環境がない PC に SQLServer および MySQL 以外の GAM 実行環境をインストールする場合や、GeneXus X Evolution 3 のインストーラを使ってインストールした GAM 実行環境以外のプラットフォームを後から追加する場合に使用します。
- GAM Deploy Tool : GAM を使用したアプリケーションのデプロイに関連する機能を提供するツールです。詳細については次を参照してください : <http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?18608>
- Report Editor : PDF や XML の出力画面の編集機能を提供するツールです。詳細については次を参照してください : <http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?18909>
- Theme Editor : テーマおよびテンプレートに関するエディターオプションを提供します。GeneXus X Evolution 3 のインストールパスにインストールされる同名のツールをスタンドアロンとして別の PC にインストールすることができます。
- DBRet : GeneXus のツールメニューから選択可能な「データベースリバースエンジニアリングツール」のスタンドアロンバージョンです。このインストーラを使用して GeneXus がインストールされているのは別の PC に単体でインストールすることができます。

B) GeneXus のアップグレード(Upgrade バージョン)

このセクションでは、GeneXus のアップグレード (Upgrade バージョン) について説明します。

Upgrade バージョンとは、UXX で示される、同一の Major, Minor バージョンにおけるバージョンのアップグレードです。GeneXus X Ev3 U10 から GeneXus X Ev3 U12 などのアップグレードを示します。

1. セットアップ プログラム (「GeneXusXEv3UN.exe」といった名称です。N にはアップグレードバージョン番号が入ります) を右クリックして「**管理者として実行**」を選択します(XP の場合はダブルクリックします)。GeneXus がインストール済みであることを示す以下の「インストールウィザード」画面が表示されます。「**次へ**」をクリックします。

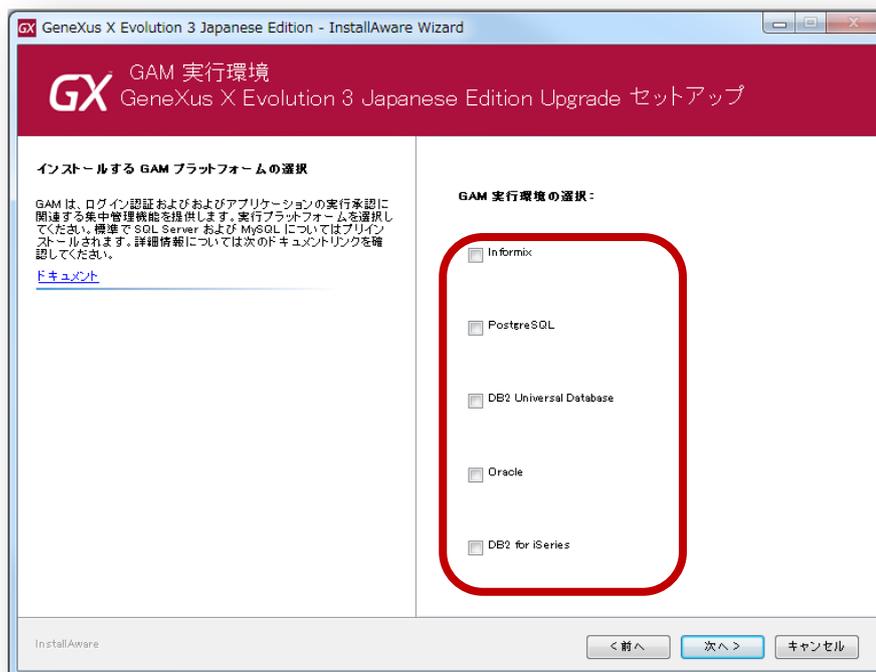


2. ライセンス規約が表示されます。
3. ライセンス使用許諾契約の内容を一読し、同意する場合は、画面右下部にある「**使用許諾書の条項に同意します**」のチェックボックスを選択します。

使用許諾書に同意すると、「**次へ**」のボタンが選択可能になりますのでクリックします。

4. アプリケーションフォルダの選択画面が表示されます。インストールパスとショートカットの作成対象を選択して次へをクリックします。

5. 「次へ」をクリックします。ログイン認証およびアプリケーションの実行承認を集中管理する機能を提供する「GeneXus Access Manager (GAM)」の実行プラットフォームの選択画面が表示されます。

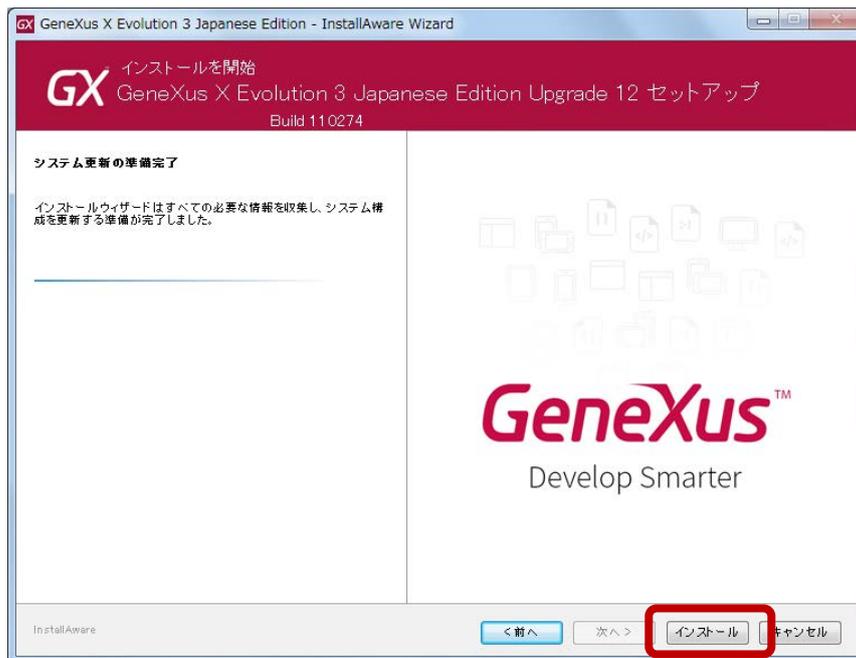


6. 次の中から任意のオプションを選択します。

- Informix
- PostgreSQL
- DB2 Universal Database
- Oracle
- DB2 for iSeries

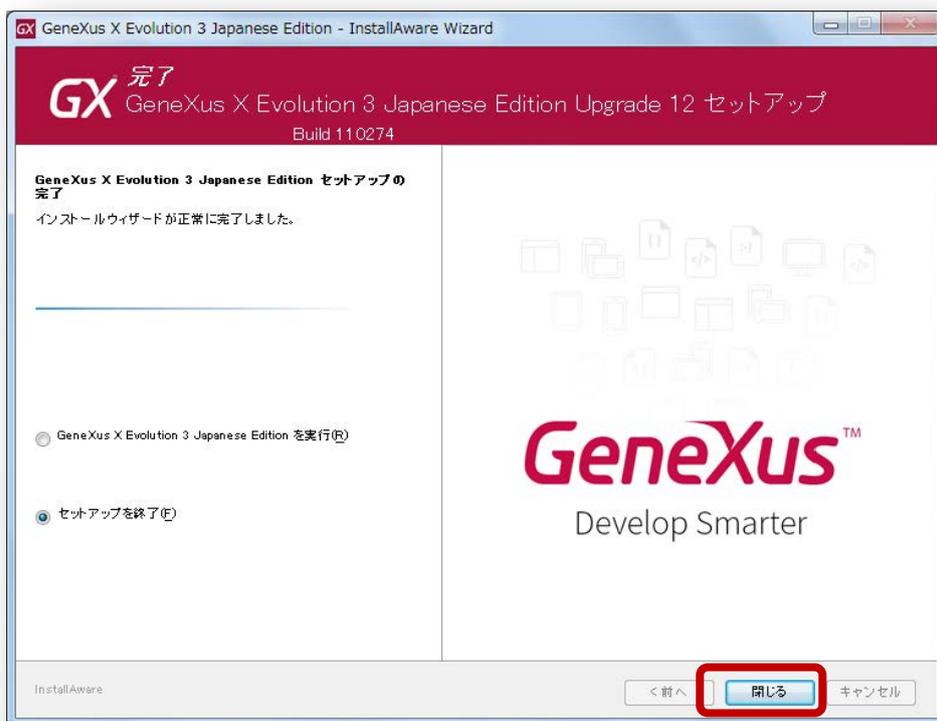
重要：上記の GAM オプションのインストールには、インターネット接続が必要です。SQL Server と MySQL はプリインストールされるため、選択オプションとして表示されません。後から追加で別の実行環境をインストールする場合やインターネット接続環境がない場合には、付属の「GAM_LocalInstaller」を使って個別にインストールすることができます。詳しくは、「GAM_LocalInstaller」に付属の書類を参照してください。

7. 「次へ」をクリックします。インストールウィザードにより、インストールに必要なアプリケーションがすべて揃っているかどうかを検証されます。インストール可能な状態である場合、次のようなインストールの開始画面が表示されます。システム更新の準備完了の画面が表示されます。インストールをクリックします。



8. インストール完了画面が表示されます。「閉じる」をクリックします。

これでアップグレードは完了です。

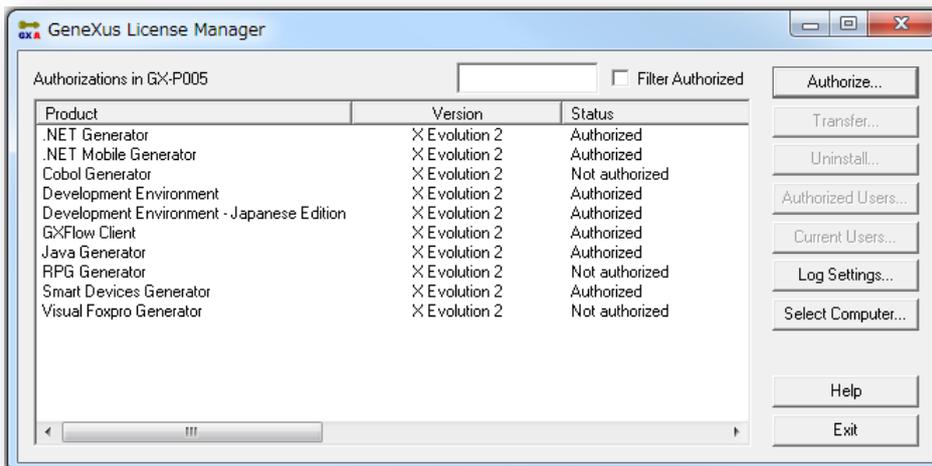


参考：正しくアップグレードされていることを確認するには、GeneXus を起動し、GeneXus の「ツール」メニューから「GeneXus」>「ヘルプ」>「GeneXus について」と選択してから、表示されるバージョン情報を参照してください。

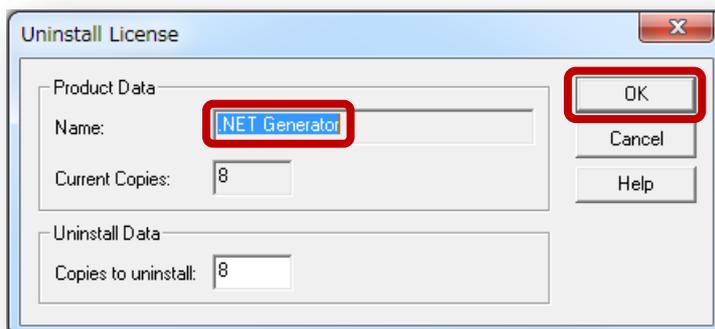
C) ライセンスのアンインストール

GeneXus X Evolution 3 にアップグレードするには、はじめに現在使用している GeneXus 製品のライセンスをアンインストールする必要があります。また、前述の「[4. 旧 Major, Minor バージョンからのアップグレード](#)」(P16)に記載されている 4 つの添付ファイルの準備も必要です。このセクションでは GeneXus X Evolution 2 を例にして、ライセンスのアンインストールを説明しています。

1. 現在使用している GeneXus 製品（ここでは GeneXus X Evolution 2）の「**GeneXus License Manager**」を起動します（Windows Vista～Windows 8.1 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。
「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



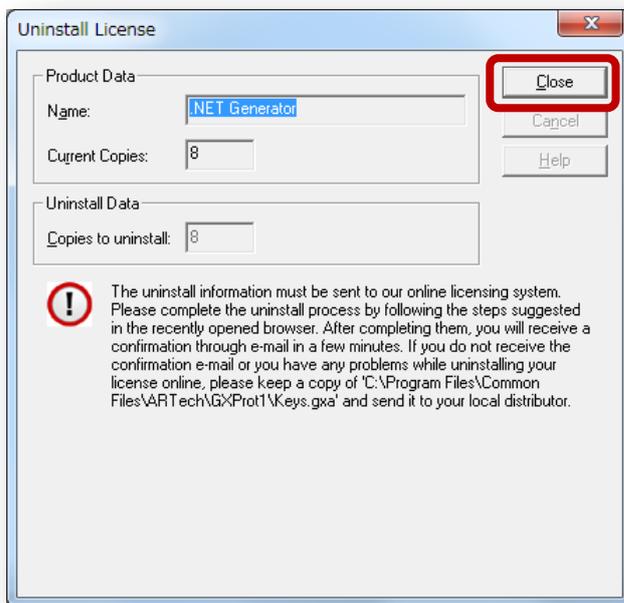
2. GeneXus X Evolution 3 にアップグレードするために、ライセンスをアンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします（製品名をクリックすると、「**Uninstall**」ボタンがアクティブになります）。
次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。



3. 「Copies to uninstall」フィールドには保有しているすべてのライセンス数が表示されます。内容を確認してから「OK」をクリックします。

「Keys.gxa」という名前のファイルが生成されたことを示す次のような画面が表示されます。既定の場合、このファイルは次のパスに保存されます：**C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP**

注意：インストール時に任意のインストールパスを指定している場合、「Keys.gxa」ファイルは「GeneXusXEv2JP」ではなく、インストール時に指定したのと同じフォルダ名のパスに保存されます。



注意：Protection Server をお使いの場合、以下のパスに保存されます：

C:\Program Files\Common Files\Artech\Gxprot1

参考：既定のブラウザが開き（起動していない場合）、「GeneXus Uninstall Keys」という名前のページが表示されたら、このページの内容は無視してブラウザを閉じてください。

4. 「Close」ボタンをクリックします。

アップグレードのためのライセンスの請求のために必要なライセンスのアンインストールの操作詳細はここまではです。他の製品もアンインストールする場合は、手順2～4を繰り返します。そして継続ライセンスの請求の操作を続けてください。

以下は、「4. 旧 Major,Minor バージョンからのアップグレード」の場合となります。

5. 「Keys.gxa」 ファイルをアンインストールした製品の種類を明記したフォルダにコピーします。

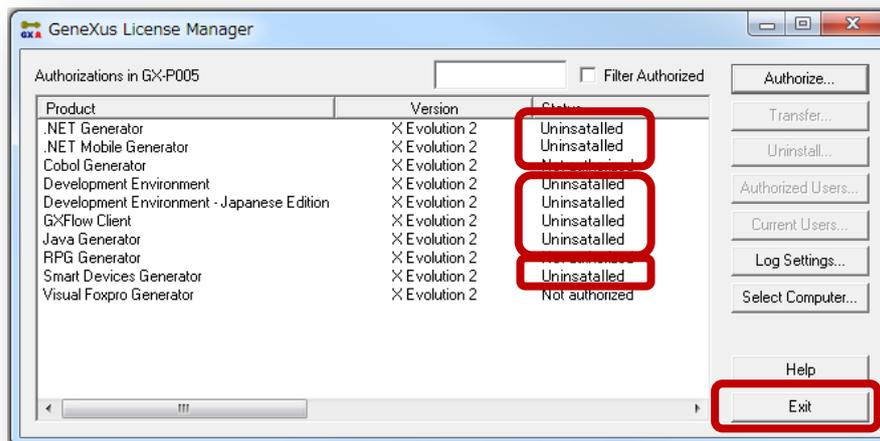
例 : dotNETGenerator/Keys.gxa

このファイルが**添付ファイル A** となります。

重要 : 「Keys.gxa」 ファイルは、生成されるたびに Keys.gxa、Keys1.gxa、Keys2.gxa、Keys3.gxa... というように、末尾に番号が追加された状態で保存されます。ファイル名からはどの製品のアンインストールファイルか判断できないため、製品名を記載したフォルダにコピーするようにしてください。

6. 必要に応じて手順 2~5 を繰り返し、ほかの製品のライセンスもアンインストールします。

7. 次のように該当する製品の「Status」が「Uninstalled」になっていることを確認します。



8. 手順 7 の画面をスクリーンショットとして取得します。このスクリーンショットを次のように保存してください :

- ファイルの保存形式 : JPEG または PNG を指定
- ファイル名 : 貴社名_YYYYMMDD_GXUninstall
例 : GeneXusJapan_20150120_GXUninstall.png

このファイルが**添付ファイル B** となります。

9. 手順 7 の画面にある「Exit」 ボタンをクリックして終了します。
10. 次の場所に保存されている GxProt.log ファイルのコピーを用意します。

C:¥Windows¥

このファイルが**添付ファイル C** となります。

以上でライセンスのアンインストールの操作が終了となります。続けて、「[4. 旧 Major,Minor バージョンからのアップグレード](#)」(P16)にもどりアップグレードの流れの2項目以降を実施してください。

D) Protection Server のインストール

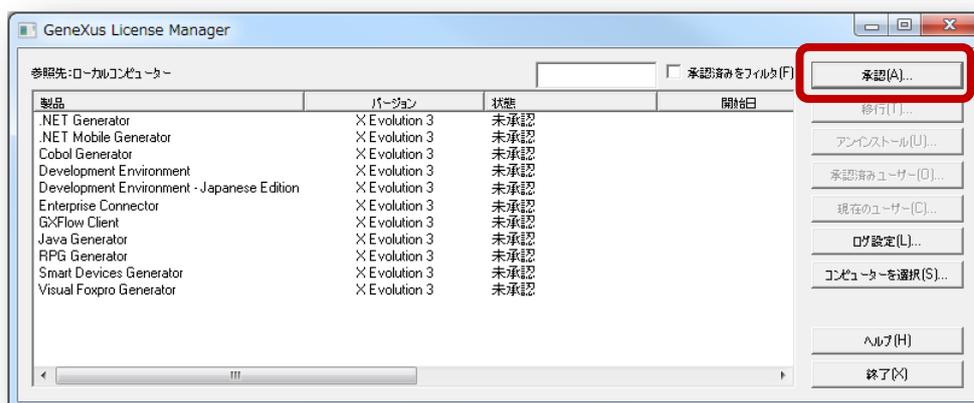
Protection Server は、GeneXus のライセンスマネージャーに、複数開発者によるライセンス利用の機能が追加されたアプリケーションで、弊社ホームページ (<http://www.genexus.com/downloads/products-jp?ja>) からダウンロードして無料でご利用いただけます。サーバーマシンにインストールしていただくだけで、GeneXus 関連製品のライセンス管理が行えます。

E) ライセンス請求

次の手順にしたがって、新規にライセンスを請求します。

1. GeneXus X Evolution 3 Japanese Edition のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista~Windows 8.1 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

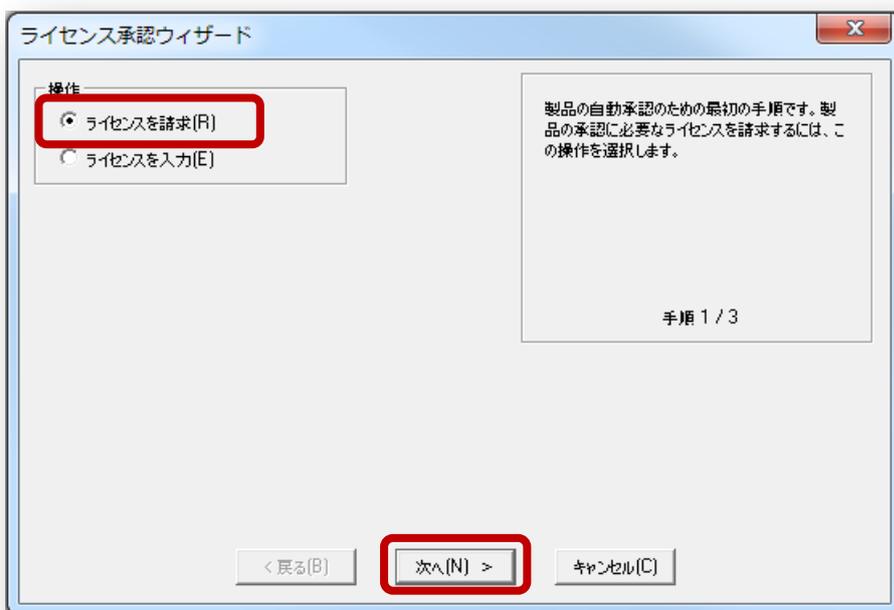
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



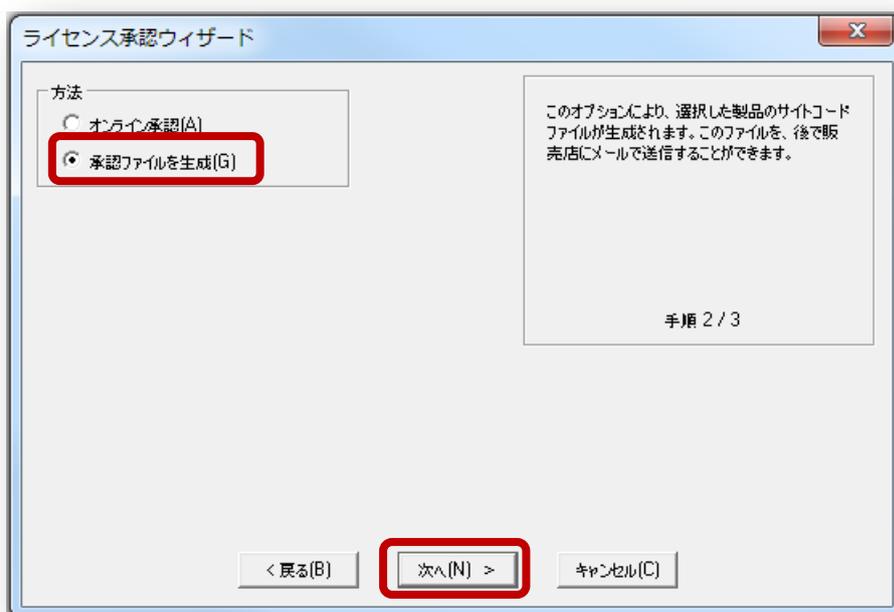
2. 「**承認**」ボタンをクリックします。

ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。

3. 「ライセンスを請求」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。



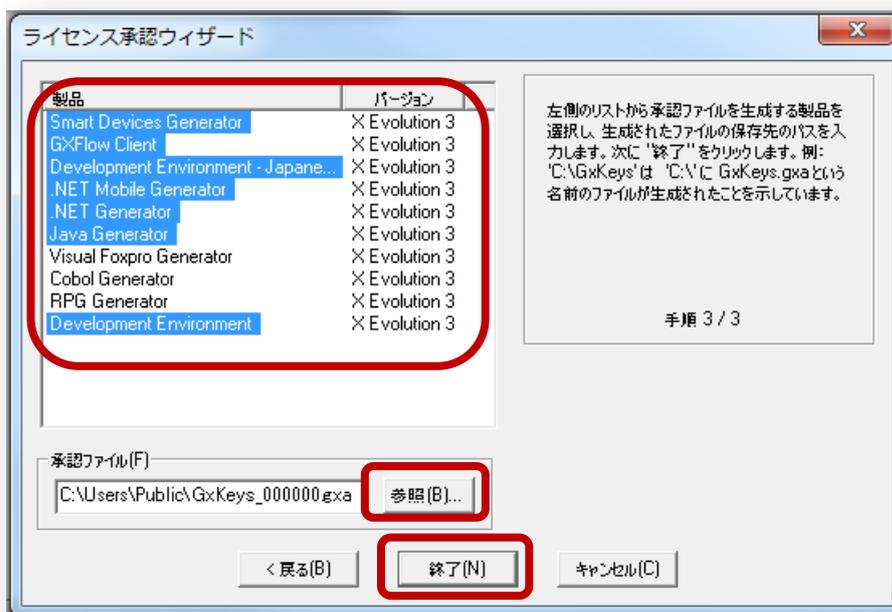
次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。請求方法はオンライン（オンライン承認）とオフライン（承認ファイルを生成）の2種類があります。



4. ここでは「承認ファイルを生成」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。
ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



5. 「製品」リストから下記記述の必要な製品を選択してから、「終了」ボタンをクリックします。



「製品」リストに表示される内容は次のとおりです。必要な機能をすべて選択してください：

- **.NET Generator**
- **.Net Mobile Generator**
- **Development Environment Japanese Edition:** 必須選択項目です。Ruby Generator はこれに含まれています。
- **GXFlow Client**
- **Java Generator**
- **Smart Devices Generator**
- Visual FoxPro Generator: 日本では未対応のため、選択しないでください。
- Cobol Generator: 日本では未対応のため、選択しないでください。
- RPG Generator: 日本では未対応のため、選択しないでください。
- **Development Environment:** GeneXus X Evolution 1 および Evolution 2 の以前のバージョンである Upgrade 2 Preview #3 を併用する場合には、この製品も選択してください。

参考：隣り合う複数の製品を選択する場合は Shift キーを押したままクリックします。それ以外の複数の製品を選択する場合は Control キーを押したままクリックします。

6. 「**.gxa**」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「**参照**」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。

「**.gxa**」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「**OK**」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「**.gxa**」ファイルが保存されます。

8. メールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを keystmaster@genexus.jp に送信します。

メールには、以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名** : EV3Un 新規ライセンス請求 (n にはアップグレード番号を入れてください)

➤ **メールの本文** :

- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号 (6桁の数字)
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

GeneXus のライセンス請求は完了していません。

下記リンクから「ご利用局面ごとの手順概要」に戻り、請求作業を続けてください。

新規ライセンス請求 : 「[1.3 新規ライセンス請求](#)」 (P10)

継続ライセンス請求 : 「[2.1 継続ライセンス請求](#)」 (P12)

再発行ライセンス請求 : 「[6.2 再発行ライセンスの請求](#)」 (P19)

F) ライセンスの取込み

ライセンス請求の後、発行されたライセンスキーは、送信したメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したマシンに取り込むことでライセンスを有効化することができます。

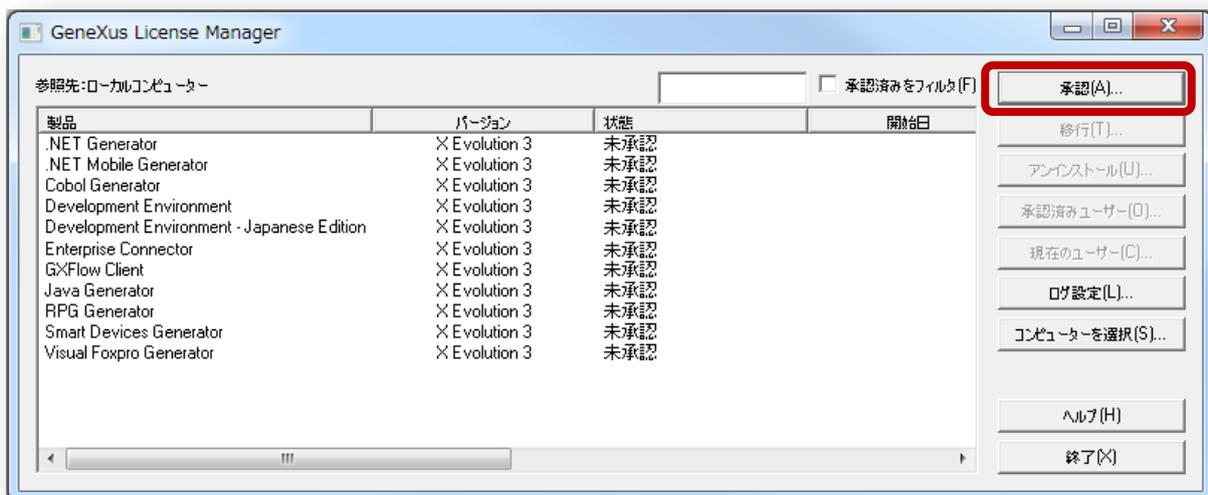
ここでは、「**Protection Server / GeneXus License Manager**」のライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

このライセンスファイルを開くと、「**GeneXus License Manager**」が起動して自動的にライセンスキーを取り込み、取り込み結果が画面に表示されます。

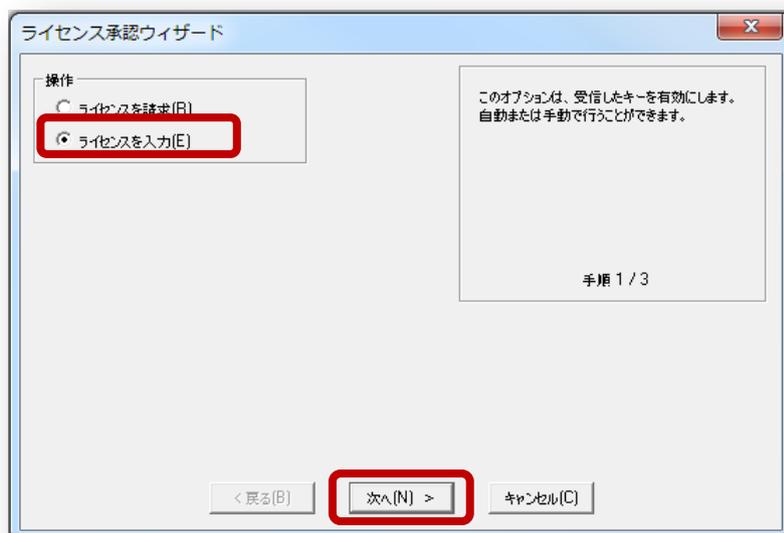
ここでは、手動でライセンスファイルを取り込む場合の手順を説明します。

1. メールに添付されたライセンスファイルを、ライセンスを請求したコンピューターにコピーします。
2. GeneXus X Evolution 3 Japanese Edition のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

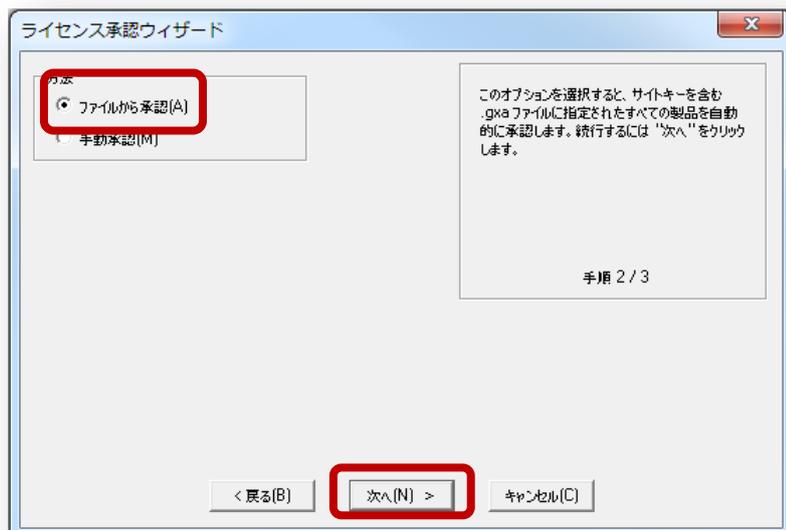
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



3. 「承認」ボタンをクリックします。
次のような取り込み画面が表示されます。

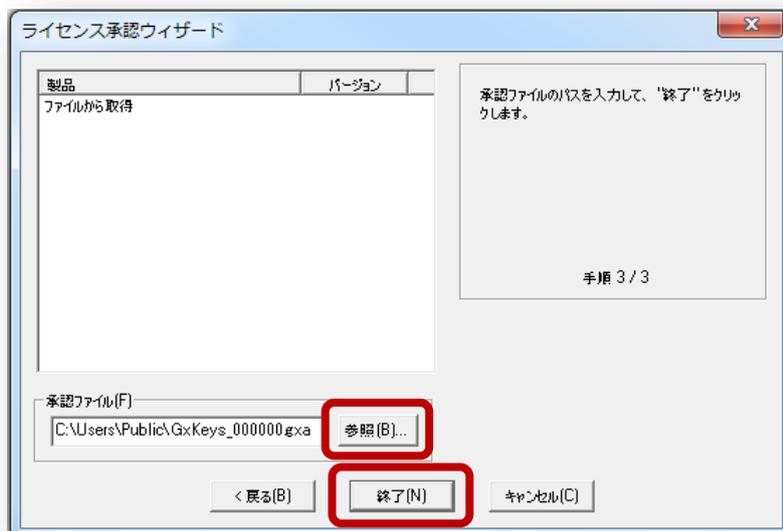


4. 「ライセンスを入力」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。
5. ファイルからライセンスキーを取り込む場合は「ファイルから承認」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



参考：「手動承認」を選択すると、メールの本文に記載されている製品ごとの 16 進数の長いコードを指定する必要があります。このオプションを選択する場合は入力ミスがないように十分に注意してください。

次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



6. 「参照」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「終了」ボタンをクリックします。
これでライセンスの取り込みは完了です。

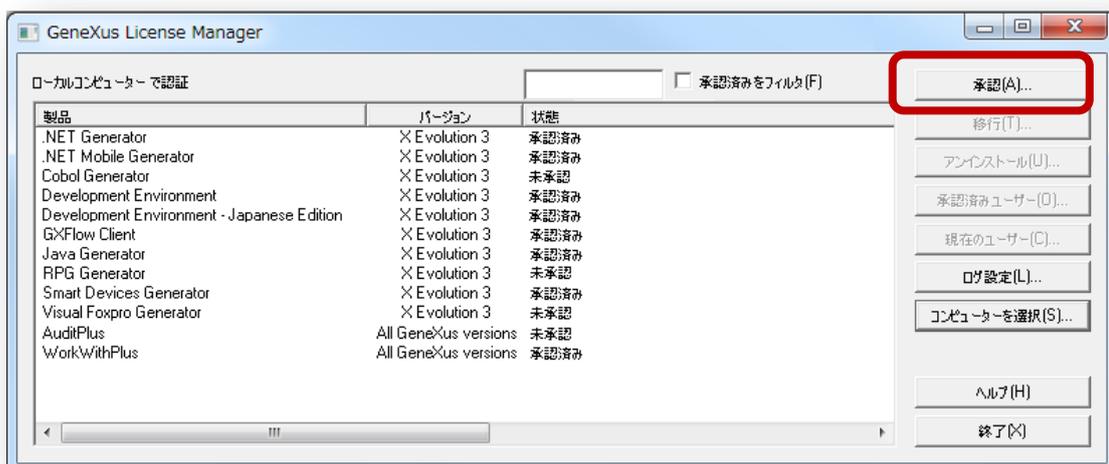
G) 緊急ライセンスの取込み

緊急ライセンスを請求後、発行されたライセンスキーは、ジェネクス・ジャパンへ請求した際のメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、手動でライセンスを請求したマシンに取り込むことでライセンスを有効化することができます。

ここでは、緊急ライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

1. メールに添付されたライセンスファイル（.txt ファイル）を、開きます。
2. GeneXus のプログラムグループから「**Protection Server / License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**Protection Server / GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

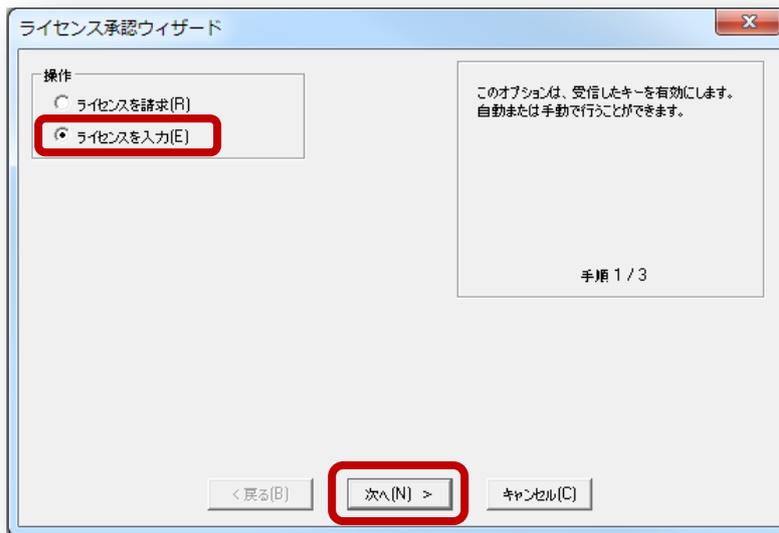
「Protection Server / GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます

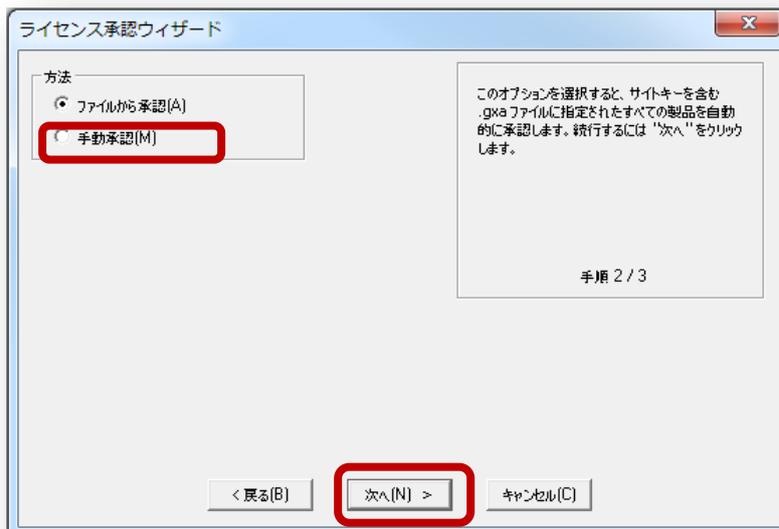
3. 「承認」 ボタンをクリックします。

次のような処理選択画面が表示されます。



4. 「ライセンスを入力」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。

5. 「手動承認」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



次のようなライセンスキー入力画面が表示されます。



6. リストからライセンスを取込む製品を選択し、手順 1 で開いたファイルに含まれるサイトコードが「サイトコード (D):」に表示されていることを確認し、ファイルのキーをコピーして、「ライセンスキー (K) :」に貼り付けます。

7. 「**実行**」ボタンをクリックします。

「無事に承認されました。」というメッセージが表示されます。

6. 7. の操作を必要な取込む製品に対して繰り返し行います。

これで緊急ライセンスの取込みは完了です。

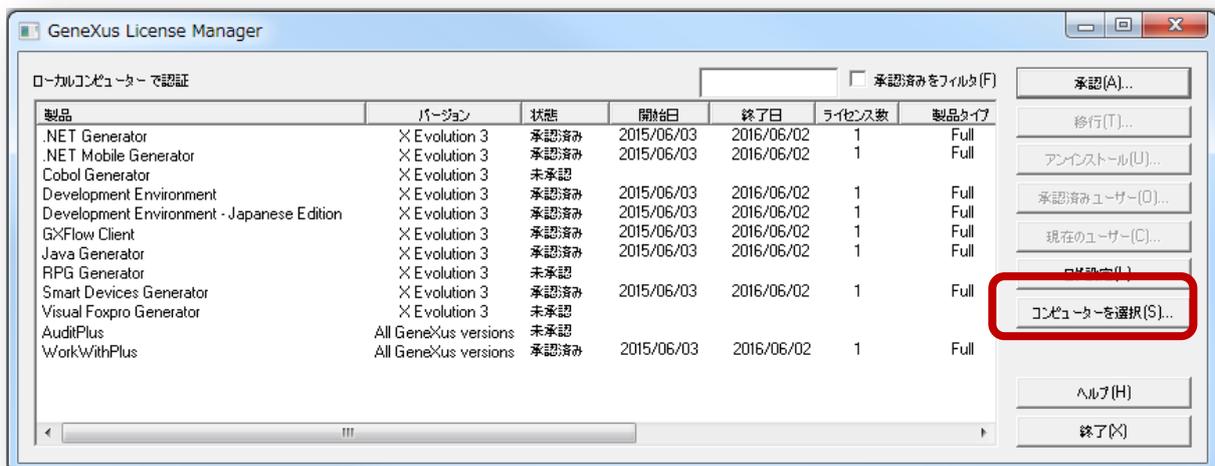
H)ライセンスの移行手順

ここでは、GeneXusのライセンスを別のマシンに移行する方法について説明します。この場合、はじめに「1. ライセンスの移行先のマシン（ターゲットマシン）」でライセンス情報の移行用ファイルを作成（移行用ファイルの作成）し、次に「2. ライセンスがインストールされているマシン（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（ライセンス書出し）」、最後に「3. ターゲットマシンでライセンスを読み込む（ライセンス取込み）」操作を実行する必要があります。

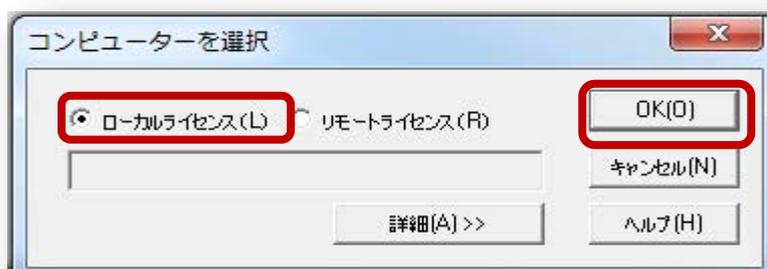
1. ターゲットマシンで移行用ファイルの作成

1. ターゲットマシンのGeneXusのプログラムグループから「**Protection Server/GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8の場合は「**Protection Server/GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

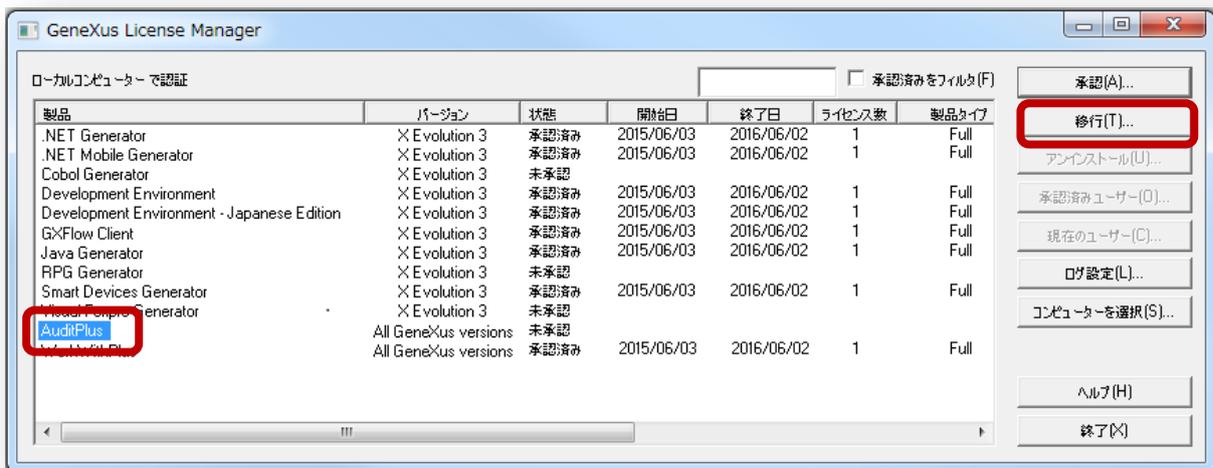
「Protection Server/GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



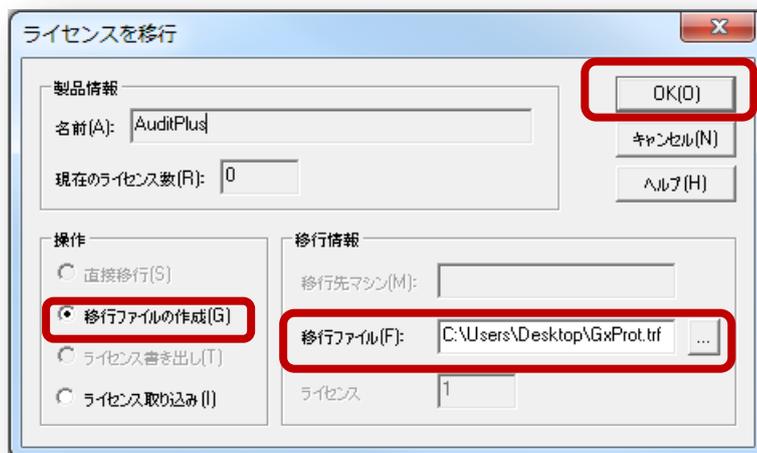
2. 「**コンピューターを選択**」をクリックします。「コンピューターを選択」ウィンドウが表示されます



- 「ローカルライセンス」のオプションが選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
「Protection Server／GeneXus License Manager」の起動画面に戻ります。
- 「製品」列で移行したい製品を選択し、「移行」ボタンをクリックします。

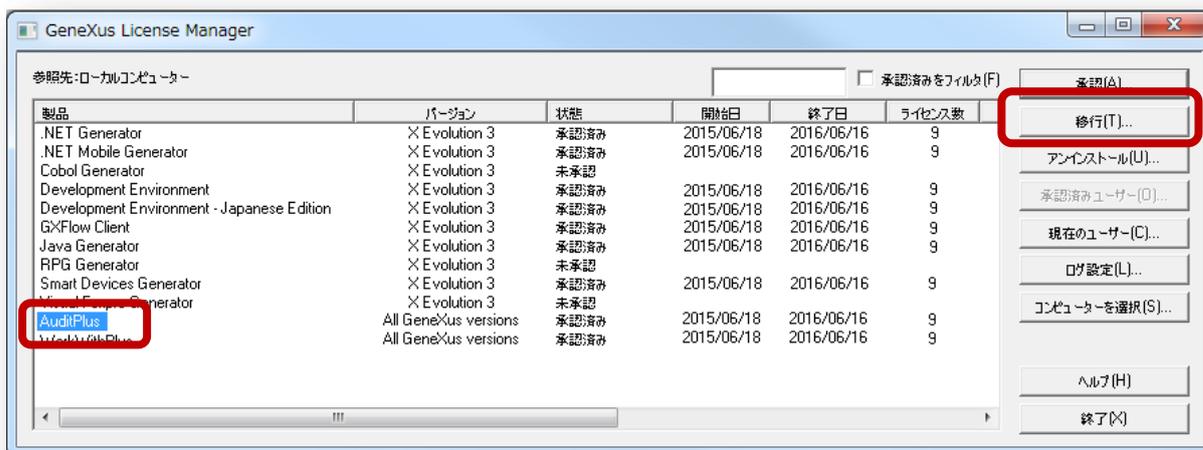


- 「ライセンスを移行」画面が表示されたら、「操作」セクションの「移行ファイルの作成」を選択し、「移行情報」セクションの「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。**参考**：「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

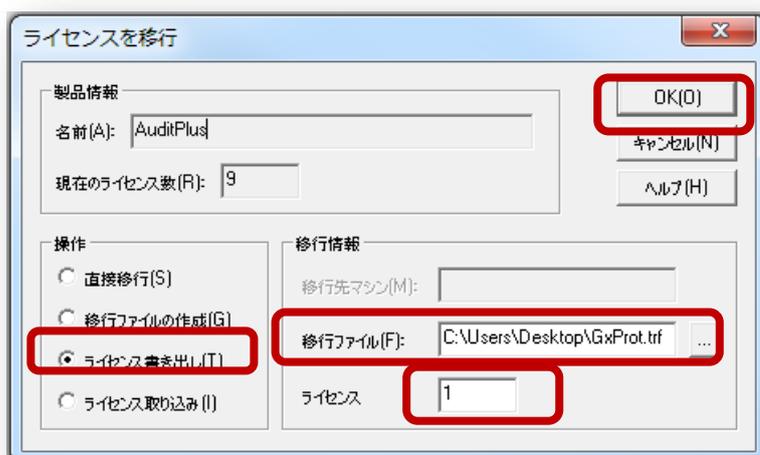


2. ソースマシンからライセンスの書出し

1. ソースマシンから「Protection Server / GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



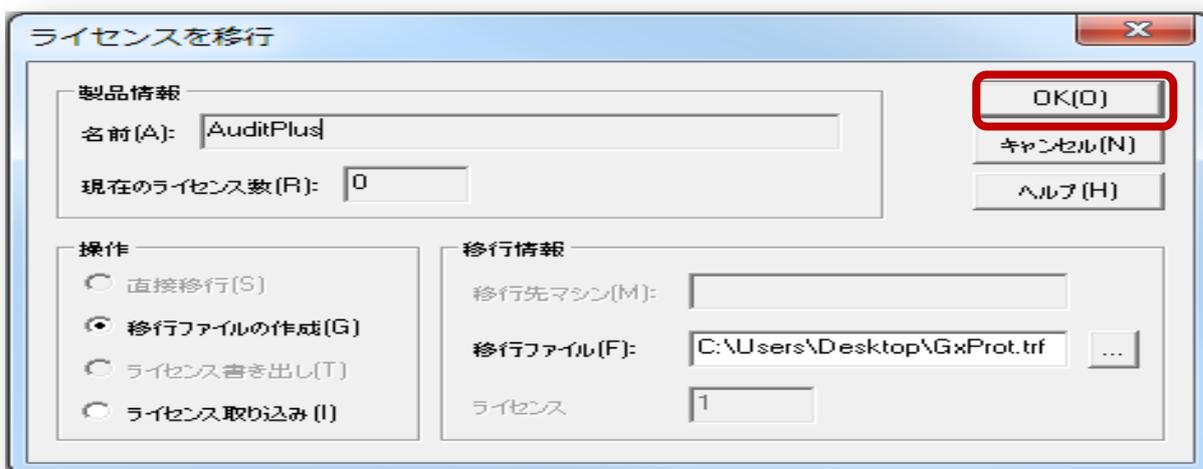
2. 「製品」列から移行したい製品を選択し、「移行」ボタンをクリックします。
3. 「操作」セクションの「ライセンス書き出し」を選択し、「移行情報」セクションの「ライセンス」フィールドに必要な数を入力してから、「移行情報」セクションの「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順5の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



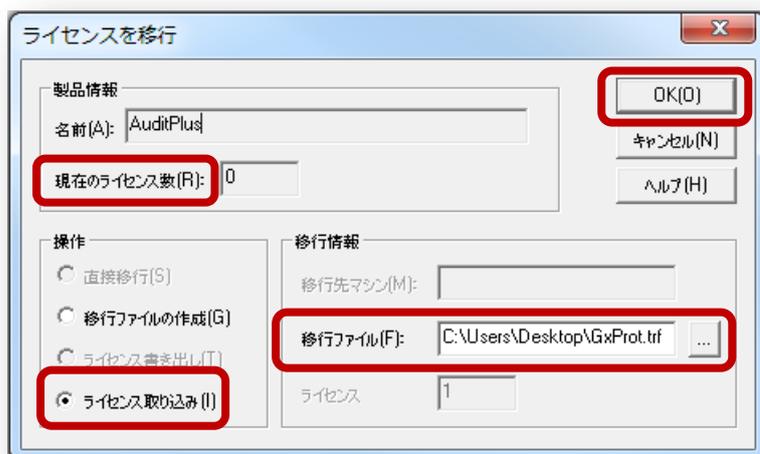
この後ターゲットマシンに戻って操作を行います。

3. ターゲットマシンでライセンスの取込み

1. ターゲットマシンから「Protection Server／GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



2. 「製品」列から移行したい製品を選択し、「移行」ボタンをクリックします。
3. 「操作」セクションの「ライセンス取り込み」を選択し、「移行情報」セクションの「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



これでライセンスの移行は完了です。

重要：ターゲットマシンで移行 (.trf)ファイルを作成後、ソースマシンでライセンスを取り込む前に再度移行ファイルを作成しようとする、警告画面が表示されます。同じ製品区分に対して、「移行ファイルの作成」を複数回実行した場合、最後に作成したファイルが正になります。最後に作成された移行ファイル以外の移行ファイルを使って、ソースマシンで「ライセンス書き出し」処理が実行された場合、書き出されたライセンスは行き場を失い、消失してしまいます。誤ってライセンスを消失してしまった場合については、[「6. 【トラブルシューティング】ライセンスの再発行」](#) (P19)を参照してください。

I) ユーザー登録

GeneXus Japan の Web サイト内の「問題追跡システム」または「サポート」ページからユーザー登録を行います。ここで登録したユーザー名とパスワードは、オンラインライセンス請求のほかに、「問題追跡システム」、「フォーラム」、技術者向けの文書、プラグイン、製品、およびアップデートなどをダウンロード可能な「Gxtechnical」を利用する際にも使用します。

1. GeneXus Japan の Web サイト内にある「問題追跡システム」ページにアクセスします：

<https://www.genexus.com/jp-it/ITLogin?ja>

GeneXus™ JAPAN

ホーム 製品 企業情報 コミュニティサポート ダウンロード ニュース お問い合わせ

検索 ▶

GeneXus™
Develop mission critical applications.
評価版のお問い合わせ ▶

ユーザーID パスワード ログイン

ユーザー登録 [パスワードをお忘れですか?](#)

問題追跡システム

問題追跡システム (SAC - Issue Tracking)

問題追跡システムをはじめてお使いになる方は、「[問題追跡システムの使用方法](#)」を参照してください。

問題を登録するには、あらかじめ「**ユーザー登録**」が必要です。また、ユーザー登録には「ユーザーID」および「電子メールアドレス」を指定する必要があります。

この「電子メールアドレス」は、GeneXusを購入された際の管理者、もしくは技術担当者の電子メールアドレスと同じである必要があります。

違う場合には、ユーザーIDと問題追跡システムの権限が関連付けられず、システムに問題を登録することができません。GeneXusを購入された際の Purchase オーダーに記入された**管理者 (Primary Administrative Contact)** および **技術担当者 (Primary Technical Contact)** と、異なった電子メールアドレスで登録されている場合には、大変お手数ですが、以下の情報を明記のうえ、[こちら](#)までメールでお送りください：

2. 画面本文 3 行目にある「**ユーザー登録**」をクリックします。

参考：既に「Gxtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウント(GeneXus Account) を登録している場合、ユーザー登録は不要です。ライセンス請求をする際には、「Gxtechnical」のユーザー名とパスワードを使用してください。

3. 次のような「**ユーザー登録**」画面が表示されます。「*」の付いている項目は必須です。それぞれの入力フィールドに情報を入力します。

Japan > ユーザ登録

GeneXus コミュニティへ入会

名* 半角英数字を指定してください

姓* 半角英数字を指定してください

国*
URUGUAY

電子メール*

ユーザー名* 半角英数字を指定してください

パスワード* 半角英数字を指定してください

パスワードの再入力*

参照...

color

プライバシーに同意します [ご利用条件](#)

アカウント作成

重要：「名」、「姓」、「ユーザー名」および「パスワード」は、必ず半角英数字で指定してください。また、「ユーザー名」は半角英数 4 文字以上 10 文字以内、「パスワード」は半角英数 6 文字以上 12 文字以内で指定してください。

4. すべての項目の入力が完了したら、「**アカウント作成**」ボタンをクリックします。
5. 下図のような画面が表示されたら、「**完了**」ボタンをクリックします。

Japan > ユーザ登録

私たちのコミュニティの一員になるまでにあと一歩です。

登録の完了を知らせるメールが [redacted] co.jp に送信されました。
続けるには、メールアドレスを確認してください。

完了

間もなく、下図のように指定したメールアドレスに「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」という件名のメールが届きます。



6. 「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」を開いて、メールの内容を確認します。下図のようにメールに記載されているリンクテキストをクリックします。



7. 既定のブラウザが開き、「新規アカウントの確認」画面が表示されます。内容を確認します。画面上のリンクテキストをクリックすると、GXtechnical のページが表示されます。



これでユーザー登録は完了です。

参考: 「GXtechnical」 (www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録する場合、英文のユーザー登録確認メールが届きます。

付録：ライセンス請求・取込みチェックリスト

このセクションでは、GeneXus のライセンスの発行および取り込みが円滑に行われるよう、ライセンス請求・取込みにおける制限事項の遵守および実施内容に関する確認項目を記載しています。ライセンス請求・取込みの際に、以下に記載されている項目がすべてチェックされているかどうかをご確認ください。記載されているチェック項目に 1 つでも当てはまらない項目がある場合（オプションを除く）、正しくライセンスが発行されない、または取り込めない可能性があります。

新規ライセンス請求・取込みチェックリスト

- GeneXus のライセンスが発行されるのは、最短で請求日の翌営業日になるが問題ない
- 受付時間内（下記参照）にライセンス請求を行っている
土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00
- GeneXus License Manager から 必要な製品をすべて選択してから.gxa ファイルを作成している
 - .Net Generator
 - .Net Mobile Generator
 - Development Enviroment – Japanese Edition
 - GXFlow Client
 - Java Generator
 - Smart Devices Generator
 - Development Environment **（オプション：GeneXus X Evolution 1 および Evolution 2 の以前のバージョンである Upgrade 2 Preview #3 を併用する場合）**
- WorkWithPlus など他の製品と同時にライセンスを請求するので、他の製品のインストールガイドに記載されている手順で個別にライセンス請求ファイルを作成している **（オプション：該当する場合）**

参考：新規ライセンス請求については「[1.3 新規ライセンス請求](#)」(P10) を参照してください。また、ライセンスの取込みについては「[1.4 新規ライセンスの取込み](#)」(P11) を参照してください。

継続ライセンス請求・取込みチェックリスト

- GeneXus のライセンスが発行されるのは、最短で請求日の翌営業日になるが問題ない
- 受付時間内 (下記参照) にライセンス請求を行っている
土日祝日・年末年始を除く 9:00~16:00
- GeneXus License Manager の「状態」が「期限切れ」になっておらず、残存日数が **5 営業日以上**ある
- GeneXus License Manager の起動画面のスクリーンショットを撮った (1)
- GeneXus License Manager から次のうち必要な製品をすべて選択してから.gxa ファイルを作成している (2)
 - .Net Generator
 - .Net Mobile Generator
 - Development Environment – Japanese Edition
 - GXFlow Client
 - Java Generator
 - Smart Devices Generator
 - Development Environment (**オプション** : GeneXus X Evolution 1 および Evolution 2 の以前のバージョンである Upgrade 2 Preview #3 を併用する場合)
- 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイルを用意した (3)
- 注文書に記載されているライセンス番号**を明記し、上記チェックリストのアイテム (1)~(3)を添付したメールを GeneXus パートナーまたは keystmaster@genexus.jp に送信するつもりだ
- WorkWithPlus など他の製品と同時にライセンスを請求するので、他の製品のインストールガイドに記載されている手順で個別にライセンス請求ファイルを作成している (**オプション** : 該当する場合)

参考 : 継続ライセンス請求・取得については、「[2.1 継続/追加ライセンス請求](#)」(P12)、「[2.1 継続/追加ライセンスの取り込み](#)」(P14)を参照してください。ライセンスのインストールおよび新規ライセンス請求については、「[C\)ライセンスのインストール](#)」(P34)、「[1.3 新規ライセンス請求](#)」(P10)を参照してください。